

2020年2月5日

各位

会社名 株式会社パン・パシフィック・  
 インターナショナルホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 吉田直樹  
 コード番号 7532 東京証券取引所市場第一部  
 本社所在地 東京都目黒区青葉台 2-19-10  
 情報開示責任者 専務執行役員 CFO 高橋光夫  
 電話番号 03-5725-7588(直通)

## 2020年6月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年11月6日に公表いたしました2020年6月期第2四半期連結累計期間(2019年7月1日～2019年12月31日)の連結業績予想と、本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

また、同じく2019年11月6日に公表いたしました2020年6月期通期(2019年7月1日～2020年6月30日)の連結業績予想を修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第2四半期業績予想と実績との差異について

##### (1) 2020年6月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	840,000	36,000	36,000	21,800	34円41銭
<b>今回実績(B)</b>	<b>858,789</b>	<b>45,113</b>	<b>45,555</b>	<b>28,890</b>	<b>45円61銭</b>
増減額(B-A)	18,789	9,113	9,555	7,090	-
増減率(%)	2.2	25.3	26.5	32.5	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年6月期第2四半期)	513,416	30,017	35,330	23,616	37円32銭

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

##### (2) 差異の理由

当第2四半期累計期間までの業績につきましては、天候不順や消費税率の引き上げが、お客さまの消費行動に大きな影響を及ぼす厳しい商況となりましたが、顧客心理に向き合った商品施策を講じたことにより、売上高は堅実な推移を示しました。さらに前期中に連結グループ化したユニグループとの事業シナジーが、随所で出現し始めたことにより、売上総利益が大幅に改善した一方で、販管費コントロールも進んだことから、前回予想を上回る実績になりました。

## 2. 通期業績予想の修正について

### (1) 2020年6月期通期連結業績予想値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,660,000	68,000	68,000	45,000	71円03銭
<b>今回予想(B)</b>	<b>1,670,000</b>	<b>72,000</b>	<b>72,000</b>	<b>46,000</b>	<b>72円59銭</b>
増減額(B-A)	10,000	4,000	4,000	1,000	-
増減率(%)	0.6	5.9	5.9	2.2	-
(ご参考)前期実績 (2019年6月期)	1,328,874	63,110	68,240	47,066	74円36銭

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

また、2020年6月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前期実績については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### (2) 修正の理由

2020年6月期における通期連結業績予想につきましては、消費増税後の消費者マインドや海外経済動向に係る先行き不透明感など、引き続き、厳しい外部環境が予想されますが、第2四半期累計期間までの業績の進捗状況や市場環境の変化を慎重に織り込んで、2019年11月6日に公表いたしました通期の業績予想を、上方修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した予想であり、様々なりスクや不確実性を伴います。実際の業績等は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上